
ブレイクタイム！

T F E I

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ブレイクタイム！

【Nコード】

N6361Z

【作者名】

T F E I

【あらすじ】

突っ込みの菅原、トラブルの瀬口、厨二病の七瀬、雑学少女の熊谷、アニメオタクの真壁の友達グループがてんやわんやの大騒ぎ！

瀬口「ねえ、私達の話が小説になるんだって」

菅原「ならねえよ！！…って本当になってる！？」

熊谷「……小説になると言ってもケータイ小説……金になることは

まずない……」

七瀬「ククク…、私の活躍が見れる良いチャンスだ…何故なら我は一年に三日しか下界に居られないのだから」

真壁「俺の二次元美少女は…!!」

瀬口「私は大活躍するわ!!何故ならこの話は私が書いたも同然だからね」

菅原「こんな奴らばっかだけど、『ブレイクタイム!』」

全員「宜しく願います!」

熊谷「カ?」

菅原「コラ!!」

エブリスタにも投稿しています。

0・キャラクター紹介

スガハラヒロミ
菅原陽

椿高校2年3組男子出席番号8番。
ツッコミ担当。

一応今作の主人公。

セクチマナミ
瀬口愛美

椿高校2年3組女子出席番号10番。
今作では話題を持ち込むトラブルメーカー（仮）。
考え方がひねくれている事に定評がある。

クマガイアヤ
熊谷絢

椿高校2年3組女子出席番号7番。
頭脳明晰且つ、知識が豊富。（勿論オタ知識も）
今作では解説を担当。
と言いつつも有り余った知識を使ってボケに徹する時も。
というか一番ボケている。
大阪に住んでいた事もあり、お笑いが好きである。
「……………」が多い。

七瀬すう（ナナセ）

椿高校2年3組女子出席番号17番。

所謂厨二病。

といっても、言語力が足りないのでよく言葉を間違える。

「ククク…」が口癖。

マカベタクマ
真壁琢磨

椿高校2年3組男子出席番号21番

イケメンであるがアニメオタ、漫画オタ、ゲームオタである為利点を相殺している。

が、モテる。

1・雑談 part 1

どうも、菅原です。

スガハラです。大事な事なので2回言いました。

これは瀬口、七瀬と一緒に帰っている時のことです。

「宮崎県ってどこか知ってる？」

瀬口が急に何か言い出した。

「宮崎県って…あれだろ？どげんかせんといかんの」

「ククク…、白黒家畜の残骸で巻いた生命のカスの塊で有名だな」

「肉巻きオニギリな！！分かりづらいな！！…でなんで急に宮崎なんだ？」

「都道府県的位置関係覚えられないって人が結構いるじゃない？で、宮崎県ってどげんかせんといかんが県知事になるまで宮崎県的位置を知ってる人って50%だったらしいから」

「今思い出しただけかよ！！」

「それと、明日宮崎県に行く…」

「そつちを先に言え！！」

…と見せかけて鹿児島県まで九州新幹線に乗って…

「宮崎県スルーしちゃったよこの人！！ていうか九州新幹線は宮崎県かすってもないよ！！本当に宮崎県行く気0だよ！！」

…そのまま降りずに帰ってくる…

「せめて降りてあげて！！乗り鉄でも一旦降りるよ！！」

…予定を立てる…

「しかも予定かよ！！明日行かないのかよ！！」

…つもりだったから」

……。

もう色々面倒くさい！！

「ククク…、スガワラの必殺技『TSUKKOMI』が炸裂したな」

「ツツコミって普通に言えよ！！あと、俺の名前はスガハラな！！」

てな感じでいつも通り意味のない会話を続ける日々です。

2・雑談 part 2

どうも、ワなんて無くなればいいのに思っているスガハラです。

これは音楽教室に向かって瀬口、七瀬、熊谷と歩いてる時の事です。

「6オクターブ上のラって出せる?」

いつも通り瀬口が何か言い出した。

「ウー（金切り声）ー！ククク…、我には、『滅・高音波』を使いこなす能力は無いようだ…」

「どこで使ったよそれ！…っっていうか何故にラ!？」

「何となく」

「だろうと思ったよ!…」

「まあそんな事はどうでもいいじゃない。絢はどう?」

すると熊谷は綺麗な声で、

熊「ラッ」

と言ったが、6オクターブ上では決してない。

だが瀬口は、

「…クツ。やるわね…、どの音程から6オクターブ上かを言っていないから、ただラの音程を出せばいい事に気付くとは…!!」

「とんだ屁理屈だよ!!」

「……因みに普通の音程から6オクターブ上だったら多分モスキート音……モスキート音とは若年層にしか聞こえないほどの周波数の高い音の総称であり、一度某公園のトイレに若者が溜まらないようにモスキート音を出す器械を設置したが、イラつかれたのか便器が壊されたため即日撤去された……そんな音」

「クソ真面目に因まないで良いからね!!」

「ククク…、今日のTSUKKOMIにはキレがないなスガワラくん」

「貴様に俺の何が分かるんだよ!!後スガハラだ!!」

「今日も意味のない時間が流れていく…」。

3・雑談 part 3

どうも、毎度お馴染み菅原です。

これは瀬口、熊谷、真壁と下校していた時の事です。

「この頃『制限時間以内にコレだけ食べたらタダ!』とか無くなつたわね」

やはり瀬口が突拍子の無いことを言った。

「不況だからな。仕方ないさ」

「確かにてんむ〇みたいな世界は可笑しいが、この文化が廃れては困るのだよスガッチ。漫画の中の貧乏人はどうやって食事をとればいいのだい？」

と言つのは真壁。

「いや知らねーよ!!」

「もしそんな事があつたら銀〇の神〇とかスケツトダン〇のキャプテ〇とか死んじゃうからな」

「……それどころか世界の漫画の大食キャラがキャラを保てなくなる……大食は『七つの大罪』の一つであり、他には『肉欲』『強欲』『憂鬱』『憤怒』『怠惰』『虚飾』『高慢』があり、コレを犯した場合地獄行きとされている……だが、最近新しい『七つの大罪』が生まれたらしい……内容は遺伝子改造・人体実験・環境汚染・社会

的不公正・人を貧乏にさせる事・鼻持ちならない程金持ちになる事・
麻薬中毒らしい……要するに現代人は全員地獄行きだ……」

「「何故そうなる!!」「」」

一字一句変わらずハモった。

というか話しすり替わってないか？

「完全にハモるとは…、コレはスガツチのTSUKKOMIが精細
を欠いていたからではないか？」

「余計なお世話だよ!!」」

そうやっていつもの日常が繰り広げられる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6361z/>

ブレイクタイム！

2011年12月21日11時48分発行